

府中市市民協働推進行動計画(平成27年度～平成29年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況										備考			
					H27	H28	H29	H30～	H27		H28				H29							
									進捗状況	実績	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題		次年度へ向けた取組		
推進方策1 市民の協働に対する意識の醸成																						
目標(1) 市民協働に関する効果的な啓発・PR活動の推進																						
1	市民協働推進シンポジウムの開催	協働推進課		市民協働の理念や市の取組について、広く市民にお知らせし、理解に資するためのシンポジウムを開催します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、府中グリーンプラザにおいて、株式会社studio-L代表の山崎氏による基調講演と、府中市内で実際に活躍されている自治会やNPO団体、学生、事業者等、多様なパネリストと山崎氏によるパネルディスカッションを実施した。 [参加者数]108人 [参加者満足度]講演90%、WS100%、展示79%	アンケート結果等市民ニーズを踏まえ、体験型のシンポジウム等、内容の充実を検討する。	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、ルミエール府中において、株式会社エンパブリック代表の広石氏による基調講演と、これからの府中に必要な取り組みや自分たちに出ることを考えるワークショップを実施した。 [参加者数]121人 [参加者満足度]講演88%、パネルディスカッション78%	講師からの資料が事業当日の昼であり、資料の配付等参加者対応が後手となってしまったため、講師との調整やスケジュール管理等改善の余地が残った。	市民協働まつりと一体感をもって実施していくため指定管理者事業に移行し、市民活動センタープラッツの開館記念と併せて年2回開催する。	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、市民活動センターにおいて、株式会社AzMama代表取締役の甲田氏による基調講演と、府中市内で実際に活躍されているNPO団体、市長をパネリストとして迎え、甲田氏によるパネルディスカッションを実施した。	開催日時の設定が参加対象者に合っておらず、参加率が低い結果となった。	参加対象者に合わせた開催ができるよう、早期に施設予約を行う。市内の身近な協働事例の掘り起こしと団体との関係づくりを行う。	平成29年度より指定管理者業務に移管	協働推進係	
2	市民協働出前講座の実施	協働推進課	文化生涯学習課	市民や各活動団体等の要請に応じ、市が目指す市民協働の理念や取組状況等について、市職員が講師となって情報提供を行う出前講座を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	出前講座のメニューに「市民協働について」を掲載し、市民から要請のあった場合、講座を実施することができるよう対応した。 [講座要請数]0回	継続して出前講座のメニューに掲載するとともに、市ホームページのコンテンツを新たに作成し、積極的な周知を図る。	計画通りに進んでいる	継続して出前講座のメニューに掲載するとともに、市ホームページのコンテンツを作成した。 [講座要請数]0回	取組の認知度の向上。	出前講座自体の活用状況を把握するとともに、提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業等で積極的に周知を図る。	計画通りに進んでいる	提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業等で積極的に周知を図った。 [講座要請数]1回	取組の認知度の向上。	引き続き、出前講座自体の活用状況を把握するとともに、提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業のほか他課に働きかけを行うなど積極的に周知を図る。	協働推進係		
3	市ホームページの活用による情報提供	協働推進課	広報課、全課	市における協働のまちづくりに関する取組情報や、協働事業に関する情報を適時に提供できるように、市ホームページを活用します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	随時、新たにコンテンツを作成して情報提供を行うにつつ、既存のコンテンツの編集・更新を通して、分かりやすい情報提供ができるよう工夫した。	継続して協働に関する情報を提供できるよう、市ホームページを活用する。	計画通りに進んでいる	随時、コンテンツを作成して情報提供を行うにつつ、既存コンテンツの見直しを行った。	各課の担当者の意識に左右される状況にある。	引き続き、積極的に周知を図るよう、各課に働きかけていく。	計画通りに進んでいる	随時、コンテンツを作成して情報提供を行うにつつ、既存コンテンツの見直しを行った。	各課の担当者の意識に左右される状況にある。	引き続き、積極的に周知を図るよう、各課に働きかけていく。	協働推進係		
4	協働事例集の作成	協働推進課	関係課	市内の各活動団体等の様々な協働事例から、ノウハウや成果等を学ぶとともに、実務の手引にもなる事例集を作成します。	検討・作成	発行	検討・作成	継続実施	計画通りに進んでいる	次年度の発行に向けた検討を行った。	発行に向け、協働相手とともに掲載内容等の協議を行い、作成する。	計画通りに進んでいない	組織改正に伴い発行を平成29年4月とした。 [作成部数]1,000部	指定管理者事業に移行するため、掲載事業等より一層の情報共有が必要となる。	SNSを活用し、協働事業を随時紹介いただくとともに、年度末に取組をまとめた形で事例集として発行いただく予定。	次年度へ向けた取組については、指定管理者との打合せで提案があったものであるが、口頭でのやり取りであったため、今後打合せの中で確認をしていく。	計画通りに進んでいる	28年度に作った事例集をプラッツHPにリンクを貼って紹介。また、それ以外の事例についてもプラッツの機関誌やSNSやHPを活用し、少しずつ紹介をいっている。	28年度に作成した紙版の残数が少なく、配布ができない。新規に取材・紹介をしていっているが、事例が少ない。	事例の掘り起こし。	平成29年度より指定管理者業務に移管	協働推進係

府中市市民協働推進行動計画(平成27年度～平成29年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況								備考					
					H27	H28	H29	H30～	H27		H28		H29									
									進捗状況	実績	進捗状況	実績	進捗状況	実績								
目標(2)新たに協働に取り組もうとする市民への参加の機会づくり																						
5	協働初心者講座(仮称)の実施	協働推進課		これまで、意欲はあっても公益的な活動や協働事業に参加する機会がなかった市民や、これらの取組に参加したいという意欲のある若い世代を対象とした講座や学習会などを開催します。	検討	試行実施	実施	継続実施	計画通りに進んでいる	次年度の実施に向けた検討を行った。	次年度の試行実施に向け、内容や講師等についての協議を進めていく。	計画通りに進んでいる	市民協働・ボランティアの1stステップ講座として、NPO法人府中市市民活動支援センターの林氏を講師とし、協働の必要性や地域への波及効果、協働事例に関する座学体験・見学ツアーなど、2期3コマ開催した。 【参加者数】前期10人・後期10人(計20人) 【参加者満足度】100%	ターゲット層として、初心者を中心としていたが、すでに市民活動に取り組んでいる方の参加が多数あった。参加者満足度は高いものではあったが、対象と参加者のミスマッチがあったため、事業内容等の見直しの余地がある。	指定管理者事業に移行し、市民活動に取り組む市民の拡充を図るとともに、すでに市民活動に取り組んでいる市民に協働を理解いただけるような講座を引き続き開催する。	平成29年度より協働推進課へ事務移管	計画通りに進んでいる	市民活動入門講座を開催した。 ・「まちに踏み出す！ボランティア」16名 ・「おいしいでつながろう！まちづくりの輪」16名 ・「男の市民活動入門」14名 ・「あなたのスキルが街を変える」24名 講演会を開催した。 ・「外遊びの楽しさ再発見！冒険遊び場「つてな」」50名 ・「トークセッション「閉ざされた心が開くとき～少年たちへのアプローチから見えること～」150名	入門講座は、単発の講座の繰り返しでは実際の活動への足掛かりとしては限界がある。 講演会は、社会課題の啓発、活動への参加のきっかけとして有効であるので、様々なテーマでの開催が必要。	入門講座は連続講座として開催する。 講演会はプラットフォーム周年にあわせて告知を強化し、市民活動への関心層を広げる。	平成29年度より指定管理者業務に移管 商業施設と同じ建物内にあるため、無関心層の来場が多く見られる。そのため、まずは無関心層を関心層に「引き上げるための取組を行っている状況である。	協働推進係
6	次代の協働の担い手の育成に向けた各種事業の実施	協働推進課、地域コミュニティ課、児童青少年課、指導室		地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる事業を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる事業を実施することができた。	引き続き事業を実施する。	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる事業を実施することができた。	さらに児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる方策についての研究等を行いつつ、事業継続させていくことが課題である。	引き続き事業を実施する。	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる事業を実施することができた。	引き続き、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる方策についての研究等を行いつつ、事業推進することが課題である。	引き続き事業を実施する。	指導室		
				放課後子ども教室事業や青少年健全育成強調事業など、NPO法人や地域のボランティアと協力しながら、様々なイベントや啓発活動をとあわせて、地域と子どもたちとのつながりを深めることができた。	計画通りに進んでいる	昨年度に引き続き、青少年健全育成のため、NPO法人や地域と協力しながら事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	放課後子ども教室事業や青少年健全育成強調事業など、NPO法人や地域のボランティアと協力しながら、様々なイベントや啓発活動をとあわせて、地域と子どもたちとのつながりを深めることができた。	目的を明確に共有し、市と事業者の相互の立場を理解するため、様々な情報交換を密に行う必要がある。	計画通りに進んでいる	昨年度に引き続き、青少年健全育成のため、NPO法人や地域と協力しながら事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	放課後子ども教室事業や青少年健全育成強調事業など、NPO法人や地域のボランティアと協力しながら、様々なイベントや啓発活動をとあわせて、地域と子どもたちとのつながりを深めることができた。	情報交換を密に行い、お互いの立場を理解しあうことで、市と協力者のより良い協働関係を構築する必要がある。	引き続き、青少年健全育成のため、NPO法人や地域と協力しながら事業を進めていく。	児童青少年課						
目標(3)地域を支える各リーダーに対する啓発・情報提供																						
7	各活動団体リーダー学習会(仮称)の実施	協働推進課		各活動団体のうち、特に地縁型活動団体及び目的型活動団体のリーダーや活動の担い手となる人材を対象とした学習会等を実施します。	検討	試行実施	実施	継続実施	計画通りに進んでいる	次年度の実施に向け、協働相手と共打合せを実施した。	次年度の試行実施に向け、内容や講師等についての協議を進めていく。	計画通りに進んでいる	市民協働のリーダー学習会として、IHOE代表の川北氏を講師とし、府中市の状況や今後どのような問題に直面するかを確認し、事業と団体を続けるための基礎の再確認をすとともに、協働の必要性やメリット、コツなどを学ぶ講座を実施した。 【参加者数】15人 【参加者満足度】92%	予算的に講師に無理をお願いすることになってしまったこと、また、協働先との参加費の徴取に対する認識にズレがあったため、事業計画時に十分議論すべきであった。	ターゲット層がすでに市民活動に取り組んでいる市民であるため、指定管理者事業に移行し、協働について理解いただけるような講座を引き続き開催する。	計画通りに進んでいる	専門講座の開催 ・「資金調達力を磨く」16名 ・「資金調達力を磨く」2,15名 ・「伝えたいが伝わるチラシをつくる」19名 ・「写真を活かした広報戦略」28名 ・「Facebook発信講座」22名 ・「チーム力を上げて地域を盛りあげよう」15名 ・「チーム力を上げて地域を盛りあげよう」2,16名 ・「チーム力を上げて地域を盛りあげよう」3,15名 ・「人が集まる！成功するイベントの作り方」24名 ・「人が集まる！成功するイベントの作り方」12名	多様なテーマを設定し、座学だけではなく、来館時などに声掛けしながらフォローアップしていく。 また、引き続きすでに活動している層が必要な知識、スキルが学べる講座を展開していく。	学ぶだけでなく、実際に活用できているか、来館時などに声掛けしながらフォローアップしていく。 また、引き続きすでに活動している層が必要な知識、スキルが学べる講座を展開していく。	平成29年度より指定管理者業務に移管 開館後登録団体数が伸びているため、まずは団体の組織基盤の強化が緊迫の課題である。今後状況を見ながら協働への理解を深める取組についても検討するよう働きかける。	協働推進係	

府中市市民協働推進行動計画(平成27年度～平成29年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況								備考					
					H27	H28	H29	H30～	H27		H28		H29									
					進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組						
8	目標(4)大学・学生との協働の推進																				協働推進係	
	大学・学生への市民協働に係る情報提供及び相談窓口の充実	政策課・協働推進課	全課	大学・学生と、更に効果的な協働事業を実施するため、市の市民協働に向けた取組に係る情報や、市内における協働の機会等に係る情報を積極的に提供します。また、市との協働事業を実施するため、相談・調整しやすい環境を整えます。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	大学・学生との協働事業について、庁内への周知や大学との連携会議の開催した結果、新規事業が提案・実施され、総件数が増加した。	市と大学との協働事業を実施するため、引き続き相談・調整しやすい環境を整える。	計画通りに進んでいる	大学・学生との協働事業について、連携体制を構築している東京農工大学、東京外国語大学、明治大学と連携会議を開催し、新規事業を含む協働事業を実施した。	新たな分野での協働連携事業の拡大	大学・学生との協働事業については、新たな分野での協働・連携を実施していくため、引き続き相談・調整しやすい環境を整える。			計画通りに進んでいる	平成29年度から大学連携について政策課から、協働推進課へ事務移管があった。連携体制を構築している東京農工大学と協働事業について情報共有を行った。	大学によって関わり方が違うため相談・調整しやすい環境づくりを行うとともに、窓口の周知を行う必要がある。また、協定を締結している大学以外の大学とも協働事業の内容を把握するとともに密な体制の構築を図る。	引き続き、相談・調整しやすい環境を整えるとともに連携体制がより密になるよう検討していく。	政策課
9	目標(5)企業との協働の推進																					
	企業に対する市民協働に関する情報の積極的な提供	経済観光課・協働推進課		企業に対して、市が推進する市民協働に関する情報を積極的に提供します。	実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。	工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。					計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。		工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	経済観光課
10	企業との協働を推進するための各種仕組みの整備	経済観光課・協働推進課		企業と各活動団体や市とが積極的に協働事業を検討し、実施できるようにするため、相互に相談・調整・情報交換ができる仕組みや、市が推進する市民協働の取組に賛同し、協働によるまちづくりや各活動団体への支援などに積極的な企業を紹介する仕組みを整備します。	検討	整備	実施	継続実施	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、企業のマッチングを支援するガイドブックの提供を行うとともに、センターHPにおいて企業紹介を行った。	工業技術情報センターにおいて、企業のマッチングを支援するガイドブックの提供を継続するとともに、センターHPにおいて企業紹介を行う仕組みについて検討する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、企業のマッチングを支援するガイドブックの提供を行った。また、センターHPにおいて企業紹介を行うとともに、企業紹介の新たな仕組みについて具体的な検討を行った。					計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、企業の活用ガイドブック及びセンターHPをリニューアルし、きめ細かく企業紹介を行った。	センターHPや異業種交流事業などを活用し、企業のマッチングがより一層円滑に進むよう、新たな仕組みの整備を行っていく。	センターHPや異業種交流事業などを活用し、企業のマッチングがより一層円滑に進むよう整備を行っていく。	経済観光課
									計画通りに進んでいる	他市の事例等を中心に調査・研究を行い、企業との協働を推進するための各種仕組みの整備についての検討を実施。	次年度の整備に向け、具体的な検討を進めていく。	計画通りに進んでいる	企業からの相談を受け、関係課と打合せを実施するほか、情報提供を行った。	平成29年度から企業連携について、政策課より事務移管があるため、より一層取り組みが必要がある。	情報共有の仕組みの整備に着手する。	計画通りに進んでいる	他市の事例等を中心に調査を行うとともに、市民活動センターと、企業による協働の取組やCSR活動の紹介など、積極的に取り組む必要がある。	市民活動センターの開館に伴い、企業による協働の取組や、CSRの活動を紹介するなど、積極的に取り組む必要がある。	市民活動センターと連携しながら、企業による協働の取組や、CSRの活動を推進する仕組みを整備する。	協働推進係		
推進方策2 職員の意識改革及びスキルアップ																						
11	目標(1)職員研修の充実等																					
	職員研修プログラムの充実	職員課・協働推進課		市民協働の理念や推進手法を学ぶ従来の研修に加え、実際の協働の現場において体験型の研修を行うなど、研修プログラムの充実を図ります。	検討	協議	実施	継続実施	計画通りに進んでいる	関係課への情報提供を通じて、検討を進めた	検討内容を踏まえ、関係課と研修プログラム充実に向けた協議を進めていく	計画通りに進んでいる	関係課への情報提供及び協議を行った。	情報共有及び協議が円滑に進み、実施に向けての方向性を示せた。	協議を踏まえ、関係課と詳細な研修プログラム構築に向けて更なる検討・協議を進めていく。	計画通りに進んでいる	関係課への情報提供及び協議を行った。	具体的な実施に向け、関係課と協議を行った。	入庁6年目の職員を対象に、協働の現場に職員を派遣する。	体験研修について、体験先により時間や内容の濃さにバラつきがある。また、イベントの人員として捉えている団体もある。	引き続き入庁6年目の職員を対象に協働の現場に職員を派遣を行うほか、派遣団体に対する周知や応募要件の見直しを検討する。	職員課
	市民協働推進シンポジウムの開催	協働推進課																				協働推進係
12	目標(2)職員が協働の経験を積むための環境づくり																					
	職員が公益的な活動に参加しやすい環境づくりの検討	職員課		休暇制度の見直しなど、職員が公益的な活動に参加しやすい環境づくりを検討します。	調査・研究	実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	休暇制度や勤務条件についての調査・研究を進めた	調査・研究の結果を踏まえ、休暇制度の見直し等を検討する。	計画通りに進んでいない	休暇制度や勤務条件についての調査・研究を進めた。	ボランティア休暇の対象範囲を拡大するとともに、承認方法の変更を要するため、規則の整備が必要となる。				完了(目標を達成)	平成29年7月1日からボランティア休暇の対象範囲の拡大を行った。(7人・16件の取得実績あり)	対象範囲に、「国、地方公共団体が主催、共催、協賛又は後援する事業を支援する活動」などを追加したが、取得イメージを容易にするために、具体的な事例等を示していく必要がある。	これまでの1日単位の取得から、必要な時間だけ取得を可能とする、時間単位での取得を認めたことから、更なる取得を促進していく。	職員課

府中市市民協働推進行動計画(平成27年度～平成29年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況												備考
					H27	H28	H29	H30～	H27				H28				H29				
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	
推進方策3 情報共有及び双方向型コミュニケーションの推進																					
目標(1) 市からの情報発信方法の充実																					
13	市民活動・市民協働に関する提供情報の拡充	協働推進課		「コミュニティサイトふちゅう」やインターネット等を活用して、市民や各活動団体等の公益的な活動や協働に関する情報を収集するとともに、分かりやすく発信します。	拡充	継続拡充	継続拡充	継続実施	計画通りに進んでいる	コミュニティサイトふちゅうとNPO・ボランティア活動センターホームページの統合・リニューアル。同センター機関誌の発行部数増加など、情報提供のさらなる拡充を図った。	コミュニティサイトふちゅう活用講座の開催やSNSによる情報発信など、情報提供のさらなる拡充を図る。	計画通りに進んでいる	SNSによる情報発信とセキュリティに関する講座の開催及び質問会の開催を行い、団体の情報発信力の強化を図った。	都合が合わず、受講できなかった団体もある。	指定管理者との協議のもと、コミュニティサイトふちゅう活用講座の開催やSNSによる情報発信などのほか、情報提供のさらなる拡充を図る。	計画通りに進んでいる	指定管理者により、センター登録団体とコミュニティサイトふちゅうの登録団体の統一を加え、コミュニティサイトふちゅう活用講座兼団体交流会を開催し、団体の情報発信力の強化を図った。また、メールマガジンの配信も開始した。	コミュニティサイトふちゅう活用講座の開催を継続するとともに、団体登録更新完了時のアナウンスやイベントの際の団体展示ブース出展時、プラッツHP等の団体イベント紹介等に声掛けし利用を促す。	平成29年度より指定管理者業務に移管	支援係	
14	協働に関するコンテンツの充実・活用	協働推進課		市ホームページにおける協働に関するコンテンツを活用し、協働によるまちづくりに関する情報や、各活動団体の取組等について集約し、市民、各活動団体等に分かりやすく発信し、情報共有できる仕組みを作ります。	検討	実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	公開する情報範囲の拡大等、情報共有できる仕組みづくりについての検討を実施。	具体的なコンテンツの充実・活用方法等の検討結果を踏まえ、市ホームページに反映する。	計画通りに進んでいる	随時、コンテンツを作成して情報提供を行いつつ、既存コンテンツの見直しを行った。	平成29年度より、一部の協働に関する事業が指定管理者事業に移行するため、掲載方法等検討の余地がある。	掲載しているコンテンツの掲載方法等見直しを図るとともに、市民が活用しやすいようなコンテンツを作成する。	計画通りに進んでいる	随時、コンテンツを作成して情報提供を行いつつ、既存コンテンツの見直しを行った。	掲載しているコンテンツをより一層市民が活用しやすくなるよう、掲載方法を見直す余地がある。	引き続き、掲載しているコンテンツの掲載方法等見直しを図るとともに、市民が活用しやすいようなコンテンツを作成する。	協働推進係	
目標(2) 情報共有と双方向のコミュニケーション機能の拡充																					
15	双方向のコミュニケーションに向けた取組の検討	広報課		市民が自分に合った広報・広聴の手法をより一層活用することができるよう、SNS(ソーシャルネットワークサービス)を含めた各種情報媒体の活用について検討します。	随時検討・実施	随時検討・実施	随時検討・実施	随時検討・実施	計画通りに進んでいる	SNSを活用し、市民との双方向のコミュニケーションを図るため、先進自治体の取組事例などを調査・研究した。	SNSを各課が開発・活用する際の指針となるガイドラインの策定に着手した。	計画通りに進んでいる	SNSを各課が開発して活用する際の指針となる「府中市ソーシャルメディアガイドライン」を策定した。	SNSを各課が活用できるように、普及・啓発に努めるとともに、引き続き先進自治体の取組事例などを調査・研究する。	府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知機会を設けるため、各種調整を行う。また、専心自治体の取組事例を調査・研究する。	計画通りに進んでいる	広報担当者説明会で府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知を図った。	SNSを各課が活用できるように、普及・啓発に努めるとともに、引き続き先進自治体の取組事例などを調査・研究する。	府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知機会を設けるため、各種調整を行う。また、先進自治体の取組事例を調査・研究する。	協働推進課(Facebook, twitter)、政策課(Facebook, twitter)、経済観光課(インスタグラム)の導入が図られた。	広報課
16	市民協働のまちづくりカフェ(仮称)の実施	協働推進課	全課	協働に取り組む市民や各活動団体の代表者、職員等が一堂に会して、ワールドカフェなどのワークショップ形式で情報交換できる機会を設けます。	検討	試行実施	実施	継続実施	計画通りに進んでいる	次年度の試行実施に向け、協働相手と共に打合せを実施した。	試行実施に向け、内容や講師等についての協議を進めていく。	計画通りに進んでいる	市民協働のまちづくりカフェとして、テーマを設定し、市職員によるミニ講演とワークショップを実施した。なお、設定したテーマは「自然環境、中心市街地活性化、ラグビーワールドカップ2019、2020オリンピック・パラリンピック、障害者差別解消法」【参加者数】23人・34人・32人・28人計117人【参加者満足度】90%・100%・97%・94%	2回目以降のテーマ設定を各課から提案いただいたものとしたため、事業内容の充実を図ることができた。また、提案いただいたテーマと事業タイトルの設定が、一部分かりづらくなった。	テーマと事業タイトルのかい離がないよう、協働先と引き続き協議するとともに、職員研修の場としても活用しているため、効果的な実施方法等も検討していく。	計画通りに進んでいる	市民協働のまちづくりカフェとして、テーマを設定し、市職員によるミニ講演とワークショップを実施した。なお、今年度は東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、各回テーマを設定し行った。文化・教育・持続可能性、スポーツ・健康・世界への発信、経済・テクノロジー・まちづくり、第1回から第3回までの全てのテーマ【参加者数】33人・41人・30人・19人計123人【参加者満足度】80%・96%・83%・90%	庁内のテーマ応募や市民協働推進員以外の職員の参加が少なかった。また、庁内からの応募状況により、市民にテーマ募集をするところを検討する。	協働推進係		
推進方策4 協働のコーディネート機能の育成																					
目標(1) 中間支援組織の支援																					
17	中間支援組織の育成及び運営支援	協働推進課		市民協働の更なる推進を図るため、市において今後必要とされる中間支援組織の在り方や組織、運営方法等について検討するとともに、その支援策について検討・実施します。	検討・実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	府中NPO・ボランティア活動センター運営アドバイザーを設置し、センターの組織体制や運営方法等を改善した。また、センターのコーディネート機能を強化した。	前年度に引き続き、センターの中間支援機能の強化を図る。	完了(目標を達成)	前年度の育成効果により、活動団体の安定した支援を行った。								支援係

府中市市民協働推進行動計画(平成27年度～平成29年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況								備考						
					H27	H28	H29	H30～	H27		H28			H29									
									進捗状況	実績	進捗状況	実績	課題	進捗状況	実績	課題							
18	目標(2)協働のコーディネーターの育成及び活用																						
	協働のコーディネーターの育成及び活用方法の検討	協働推進課		養成講座を実施し、協働のコーディネーターを育成します。また、協働のコーディネーター登録制度等に係る先進事例について調査・研究し、より効果的に活用できる仕組みについて検討します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民活動・協働推進コーディネーター養成講座を実施し、受講生にはNPO・ボランティア活動センター主催事業の企画・運営に携わっていただいた。	前年度に引き続き、協働のコーディネーターを育成するとともに、他自治体の先進事例等について調査・研究していく。	計画通りに進んでいる	前年度に引き続き市民活動・協働推進コーディネーター養成講座を実施し、受講生にはNPO・ボランティア活動センター主催事業の企画・運営に携わっていただいた。	受講後の活用場の提供。				計画通りに進んでいる	前年度に引き続き市民活動・協働推進コーディネーター養成講座「つなぎずと府中」養成講座を実施し、受講生には市民活動センター主催事業(プラットフォームひろば)の企画・運営に携わっていただいた。	つなぎずとは市民活動センターの事業の補助員の養成機関ではないので、主体的に活動できるネットワークづくり、意識づけを強化していく必要がある。	講座の目的・内容をさらにブラッシュアップし、絞り込んでいく。	平成29年度より指定管理者業務に移管 現状、コーディネーター登録制度は制定されていないが、今後コーディネーター養成講座の修了生との関わり方を含め、検討していく。	支援係
19	市民協働推進員(仮称)の設置	協働推進課	全課	協働に係る先進事例等の情報を収集するとともに、各活動団体とのコーディネート役を担い、協働の取組を推進するため、各課に市民協働推進員(仮称)を設置します。	実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働推進シンポジウムやわがまち懇談会への出席を通して、各活動団体とのコーディネート役として必要なスキルを学んだ。 [推進員の数] 51人	継続して市民協働推進員を各課に設置し、職員研修等を通して職員のスキルアップを図る。	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働実感イベント(府中若者会議)や市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、市民との対話の大切さを学ぶとともに、どの課でも協働ができることを理解いただいた。 [推進員の数] 51人	研修において、時間外に集まることが多いなど、負担感を解消する必要がある。 また、主任以上と限定しているため、見直しを図る必要がある。	平成29年度の職員研修の講師と協議し、負担感の軽減を図るとともに、主任以上という対象の見直しを図る。			計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに個人・職員・事業として理解いただいた。また、主任以上としていた対象の見直しを行った。 [推進員の数] 52人	各課における協働をより一層推進するため、市民協働推進員の役割を十分に理解いただくとともに、協働事業提案制度についても理解いただくことで、提案数の増加などにつなげる。	市民協働推進員研修にて、オリエンテーションとして市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行う。		協働推進係
推進方策5 市民活動拠点施設等の有効活用																							
20	目標(1)協働の拠点としての市民活動拠点施設の活用																						
	市民活動拠点施設における指定管理者制度の導入	協働推進課	政策課	市民活動拠点施設については、指定管理者制度を導入し、中間支援機能を有する者を指定管理者にすることにより、施設の効率的かつ効果的な管理・運営に取り組みます。	選定	管理・運営	管理・運営	継続管理・運営	未着手	全体工事スケジュールの変更に伴い、選定スケジュールを延期した。	平成28年10月頃に選定完了予定。	計画通りに進んでいない	全体工事のスケジュール変更により当初の予定より遅れたが、指定管理者選定を10月に完了した。	施設開設後、当初の予定通り、施設運営をする。	施設開設に向け、指定管理者と綿密な調整を行う。			計画通りに進んでいない	全体工事のスケジュール変更により当初の予定より遅れたが、平成29年4月より指定管理者による管理・運営が開始された。平成29年7月からは市民活動センターが閉館した。	指定管理者の中間支援に係るノウハウを活用した施設の管理運営を行う。	指定管理者と緊密な調整を行い、施設の効率的かつ効果的な管理・運営を行う。		支援係
21	市民活動拠点施設の運営に係る市民意見の反映	協働推進課		より使いやすい施設とするために、市民、各活動団体等の利用者を中心に運営協議会を設置し、意見を反映します。			設置・運営	継続設置										計画通りに進んでいない	利用者アンケートなどを実施し、市民意見を施設運営へ反映させる仕組み作りを開始した。また、運営協議会の設置について検討を行った。	より使いやすい施設とするため、市民の声を施設運営へより反映させるための仕組みの構築を検討する。	利用者アンケートを引き続き実施したうえで、より多くの市民の声を聞くため、投書箱を設置する。また、その声を施設運営へ反映させるための仕組みの構築を検討する。		支援係
22	目標(2)既存公共施設の活用方策の検討																						
	協働の推進のための場としての既存公共施設に係る活用方策の検討	建築施設課	各公共施設所管課	既存の公共施設について、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、活用の実態を検証するとともに、柔軟な運営により、地域における協働の推進のための場となるよう、活用方法を検討します。	検討	継続検討	検討結果とりまとめ	検討結果に応じ対応	計画通りに進んでいる	既存の公共施設について、活用の実態を検証するとともに、様々な活用方法について検討した。	引き続き、公共施設の柔軟な運営及び様々な活用方法について検討を行う。	計画通りに進んでいる	協働の推進のための場としての活用も含め、既存の公共施設の活用を取組の中心とした第1次府中市公共施設マネジメント推進プランに定める各施設の取組の進捗状況の把握と取組の推進を図った。	公共施設マネジメントを推進していく中で生じている課題があり、その解決が協働の推進のための場としての既存公共施設の活用に向けた課題解決につながるものと認識している。	平成29年度がプランの最終年度となるため目標達成に向けて働きかける。 第1次推進プランの取組を踏まえ、新たなプランを策定する。			計画通りに進んでいる	協働の推進のための場としての既存公共施設の活用を含めた公共施設マネジメントの取組について、着実に推進していくため、第2次府中市公共施設マネジメント推進プランを策定した。	既存公共施設について、老朽化の進行状況や市の財政状況も踏まえつつ、協働の推進等の新たな市民ニーズに対応する必要がある。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるように、適切な進行管理を行う。		建築施設課
23	目標(3)新庁舎における協働を支える場の整備																						
	新庁舎における協働を支える場の整備	政策課		新庁舎建設の設計を進めるに当たり、府中市庁舎建設基本構想及び今後策定する府中市庁舎建設基本計画の考え方を踏まえ、市民との協働を支える場の設置について検討し、整備します。	検討	継続検討	継続検討	整備	計画通りに進んでいる	平成27年2月に策定した府中市庁舎建設基本計画に基づき、基本設計において、市民協働を支える機能について検討している。	現在進めている基本設計において引き続き検討を進め、規模や活用方法など、市民協働を支える場について具体化していく。	計画通りに進んでいる	基本設計において、新庁舎は、主たる庁舎機能を担う「おもや」のほか、庁舎機能を補完し、市民協働を支える「はなれ」を配置し、市民と市の協働のための市民協働ラウンジなどを計画した。	市民協働を支える「はなれ」の機能として、他公共施設の機能を考慮しながら具体的に運用方法等を検討する必要がある。	現在進めている実施設計において、より具体的な運用方法を視野に入れながらハード面の整備を検討する。			計画通りに進んでいる	実施設計において、市民と市の協働のための「市民協働ラウンジ」の具体的な設備等を定めた。	市民協働ラウンジの具体的な運用方法についてより細かく決めていく必要がある。	ハード面の整備として設計は完了したため、今後は、工事に向けて市民協働のあり方等の動向に注視していく。	全体工程に遅れが生じ、平成33年度着工、平成35年度におもや完成、平成39年度にはなれ完成となる予定。	政策課

府中市市民協働推進行動計画(平成27年度～平成29年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況								備考				
					H27	H28	H29	H30～	H27		H28			H29							
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考		進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組
推進方策6 市民自身が市民の活動を支える環境づくり																					
目標(1)市民が市民の活動を資金面で支援する仕組みの検討																					
24	市民ファンド等の仕組に係る調査・研究	政策課・財政課	協働推進課	市民ファンドやクラウドファンディングなど、市民が市民の活動を資金面で支援する仕組みや導入に係る課題等について、先進事例等を踏まえて調査・研究を行います。	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	計画通りに進んでいる	近隣市の状況や先進事例等を踏まえてメリット・デメリットの研究を行っている。	引き続き、調査・研究を行う。	計画通りに進んでいる	近隣市の状況や先進事例等を踏まえてメリット・デメリットの研究を行っている。		引き続き、調査・研究を行う。	計画通りに進んでいる	近隣市の状況や先行自治体の導入事例等を踏まえて先進事例等を踏まえてメリット・デメリットの研究を行った。		引き続き、調査・研究を行う。	政策課・財政課	
25	市民活動推進基金の活用	財政課		市民の自主的な活動支援や市民協働の推進に関する事業の財源として、市民活動推進基金を活用します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	平成30年度からの次期基金計画の改定に向けて、市民活動推進基金の活用について検討を行った。なお、当初予算編成においては、予算編成過程における一般財源の状況を鑑み、市民活動推進基金の取崩しを見送った。	引き続き、基金計画改定に向け、市民活動推進基金の活用方法の検討を重ねる。	計画通りに進んでいる	平成30年度からの次期基金計画の改定に向けて、市民活動推進基金の活用について検討を行った。なお、当初予算編成においては、予算編成過程における一般財源の状況を鑑み、市民活動推進基金の取崩しを見送った。		引き続き、基金計画改定に向け、市民活動推進基金の活用方法の検討を重ねる。	計画通りに進んでいる	平成30年度からの次期基金計画の改定に向けて、検討を行った。なお、当初予算編成においては、予算編成過程における一般財源の状況を鑑み、市民活動推進基金の取崩しを見送った。		第6次府中市総合計画の基本目標として活用する基金を創設し、その中で市民協働事業も対象とする。	財政課	
26	寄附をしやすい環境の整備	政策課・財政課	全課	市が推進する市民協働の取組に賛同いただき、資金面で支援いただける方が増えるようにするため、寄附に係る窓口の一本化や手続の簡素化を図り、寄附をしやすい環境づくりに取り組みます。	整備	実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	寄附に係る手続の簡素化を図るため、ふるさと納税制度の活用について検討した。また、寄附金の活用方法については、次期基金計画の改定に合わせて検討することを決定した。	寄附者が専用ポータルサイトを利用して簡単に手続ができるよう、ふるさと納税の受入環境整備に係る予算科目を新設した。	計画通りに進んでいる	寄附手続の簡素化を図るため、平成28年9月にインターネット上の専用ポータルサイトから寄附手続が行えるよう整備した。	返礼品の送付を始めたばかりということもあり、本市の魅力やPRする返礼品の種類が少ない。	市から市内企業に積極的な声をかけを行うとともに、説明会等を実施し、返礼品の拡大・拡充に努める。	計画通りに進んでいる	ふるさと納税を通じて本市の魅力やPRするため、市内事業者向けにふるさと納税の返礼品掲載に係る説明会を実施するなど、返礼品の拡充を図った。また、市内事業者だけでなく、「ポर्टレース平和島」や「府中市美術館」といった施設を活用した体験型の返礼品も新たに追加した。	寄附金額を一定以上保つには、定期的な返礼品のリニューアルが必要となるため、新規の返礼品の開拓や府中市をPRできる特産品の開発など対応しなければならない。	スポーツチームの協力によるイベントなど、体験型の返礼品を実現できるような、ノウハウの構築と協力企業との調整に努める。また、第6次府中市総合計画の基本目標で定める4分野に係る事業の財源として活用する基金を創設し、寄附金の積立も可能とする。	政策課・財政課	
目標(2)コミュニティビジネス実施団体の育成及び支援																					
27	コミュニティビジネス実施団体の育成及び支援	協働推進課		コミュニティビジネスを実施する市民活動団体や企業等の育成及び支援に取り組みます。	実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	コミュニティビジネス啓発講座やコミュニティビジネスガイダンス・個別相談の開催を通じて、コミュニティビジネス実施団体の育成・支援を行った。	前年度に引き続き、コミュニティビジネスの育成・支援を実施する。	計画通りに進んでいる	前年度に引き続きコミュニティビジネス啓発講座やコミュニティビジネスガイダンス・個別相談の開催を通じて、コミュニティビジネス実施団体の育成・支援を行った。	現役世代の活動団体が増えてきているため、講座や相談の曜日設定を必要とする。	指定管理者との協議のもと、コミュニティビジネスの育成・支援に資する施策を実施する。	計画通りに進んでいる	引き続きコミュニティビジネスガイダンス・個別相談の開催を通じて、コミュニティビジネス実施団体の育成・支援を行った。また、指定管理者との協議のもと、個別相談の曜日や時間帯を変更した。	コミュニティビジネスガイダンス・相談の利用者数が増加していないため、周知方法や質の向上を目指し、コミュニティビジネスの育成・支援を進める。	平成29年度より指定管理者業務に移管	支援係	
推進方策7 協働事業提案制度の整備																					
目標(1)協働事業提案制度の検討・整備																					
28	市民提案型協働事業提案制度の検討・整備	協働推進課	全課	市民が自由な発想に基づき、協働事業の実施を市に対して提案ができる制度について、具体的な方法を検討し、整備します。	検討・実施	実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	モデル事業として協働事業の提案を募集し、実施した。【提案事業数】6事業【実施決定事業数】3事業【平成28年度実施事業数】4事業	初年度の課題を踏まえ、事業の募集時期や進捗状況の管理方法等について改善を図る。	計画通りに進んでいる	市民提案型協働事業進め方ガイドブックを作成し、提案団体及び市担当課がスムーズに事業を実施できるよう改善を図った。【平成28年度提案事業数】3事業【平成28年度実施事業数】2事業	事業の方向性が固まっていない状況で提案書の提出があり、結果三者打合せで時間が係ってしまった。	事前相談期間を設けることで、提案書の制度を高めるとともに市民及び担当課の負担軽減を図る。	平成31年度提案募集(平成30年度実施)から事前相談業務のみ指定管理者に移行することで、市民提案型市民活動支援事業助成金や民間の助成金につなげるなど、より一層効果的・効率的な事業となるよう検討を進める。	計画通りに進んでいる	事前相談期間を設けることで提案には至らなかったが、相談件数の増加につながった。事前相談数9事業【平成29年度提案事業数】4事業【平成29年度実施事業数】2事業	協働事業提案制度は単年度事業であるため、市の予算要求のスケジュール上、次年度以降以降当課における事業化には結び付きにくい。	平成31年度提案募集(平成30年度実施)から複数年度での提案が可能となるよう関係課と調整を行う。また、制度への庁内理解が不十分であるため市民協働推進員研修や係長職対象研修を行う。	協働推進係

府中市市民協働推進行動計画(平成27年度～平成29年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況										備考		
					H27	H28	H29	H30～	H27			H28			H29						
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績		課題	次年度へ向けた取組
29	行政提案型協働事業提案制度の検討・整備	協働推進課	全課	市が定めた地域課題に係るテーマに基づき、協働事業の実施を市に対して提案できる制度について、具体的な方法を検討し、整備します。	検討	整備	実施	継続実施	計画通りに進んでいる	次年度の実施に向け、制度整備の準備を行った。	制度のPRや募集方法等、市民提案型協働事業と併せて効果的に実施する。	計画通りに進んでいる	制度整備を行うとともに、市民提案型協働事業と併せて事業の周知を実施した。	各課からの提案が少ない傾向にあるため、テーマの募集時期等を含め、改善を図る必要がある。	募集時期の見直しから着手し、改善が見られない場合、他の取組と連動させるなどの検討を行う。		計画通りに進んでいる	募集時期の見直しを行うとともに、協働可能性調査において行政提案型協働事業の活用を呼び掛けるなど、提案数増加のための改善を行った。 【平成29年度提案事業数】3事業 【平成29年度実施事業数】2事業	庁内からのテーマ応募が少なく、提案数も減少傾向にある。	市民協働可能性調査で行政提案型協働事業の活用を促す。また、市民協働推進員研修や今年度から実施する係長職対象研修等で周知する。	協働推進係
	様々な主体による協働事業の提案の仕組の検討	協働推進課		各活動団体が、様々な主体との協働事業の実施を提案できる仕組みについて、検討します。	情報収集	調査・研究	実施	継続実施	計画通りに進んでいる	他市の事例を中心に、情報収集を行った。	平成29年度の実施に向け、調査・研究を進める。	計画通りに進んでいる	平成29年度の実施に向け、調査・研究を行った。	費用等制度設計に課題が生じたため、引き続き検討を進める必要がある。	早期実現のため、引き続き検討を進める。		計画通りに進んでいる	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまもなく、事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「ブラッツ」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。	市民活動センターが「ブラッツ」として中間支援組織として提案団体の伴走サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。	協働推進係	
目標(2)市の事務事業に係る協働事業化の検討																					
31	市の事務事業に係る協働事業化の検討	政策課・財政課・協働推進課	全課	市の事務事業の協働の可能性を検討するため、事務事業評価制度や政策会議などを通じ、新たな協働事業の実施に係る提案を促進します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	各主管部課で実施している事務事業を協働の視点で見直すことを目的に、「協働可能性調査」を実施した。	より多くの市民の協働に係る理解の促進を図るため、パイロット事業に選定された事業について、市ホームページ等を活用して積極的にPRしていく。	計画通りに進んでいる	各主管部課で実施している全事務事業を協働の視点で見直すことを目的に、「協働可能性調査」を実施した。	協働可能性調査の結果をもとに、見直しの余地がある事業については協働事業評価対象事業とし、協働で実施していない事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より主管課が積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案が促進できるよう、改善を図っていく。		計画通りに進んでいる	調査項目の見直しを行い協働で実施していない事業について行政提案型協働事業の活用につなげるよう、改善を図るとともに、調査方法についても見直しを行った。	協働で実施していない事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より主管課が積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	引き続き、調査項目の見直しを行い協働可能性調査を通じて主管課がより積極的に新たな協働事業の実施に係る提案や職員提案などの業務改善に結びつけられるよう働きかける。	
	推進方策8 協働を推進するための組織的な仕組みづくり																				
目標(1)協働事業の相談・提案に係る受付とマッチングに関するルールの整備																					
32	協働事業の相談・提案に係る受付とマッチングに関するルールの整備	協働推進課		市民や各活動団体から、協働事業の実施等について相談や提案を受ける場合や、協働事業の提案がなされた場合のマッチングの仕組みなど、協働事業に関する手順などを示す庁内のルールを定めます。	調査・研究	整備	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	他市の事例を中心に、次年度の整備に向け、調査・研修を実施した。	次年度の整備に向けた具体的な検討を進めている。	計画通りに進んでいる	「提案型協働事業募集要領」及び「提案型協働事業進め方ガイドブック」を作成した。	問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実に取り組む。		計画通りに進んでいる	「提案型協働事業募集要領」の作成にあたり、問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実を図った。	提案型協働事業の事前相談業務が市民活動センターに移るため、市民への周知や、市民活動センターへの事前クエリや自治会回覧等での周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターへの事前クエリや自治会回覧等での周知を図る。		
	目標(2)協働の推進に資する体制づくり																				
33	市民協働推進委員会(仮称)の設置	協働推進課		協働事業の進捗状況等について、連絡調整を行うため、協働事業を実施する関係部署において構成する市民協働推進委員会(仮称)を設置します。	設置	継続設置	継続設置	継続実施	計画通りに進んでいる	市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行った。 【開催回数】3回	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っている。	計画通りに進んでいる	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】4回	各課において協働を推進できるような働き掛けについて、より意見をいただく必要がある。	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っている。		計画通りに進んでいない	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】2回	協働可能性調査の実施時期の見直し等により適切なタイミングに開催ができず、情報交換の機会が減ってしまった。	適切な時期に委員会を開催し、より効果的・効率的に情報交換ができるよう取り組んでいく。	協働推進係
	市民協働推進員(仮称)の設置	協働推進課																			協働推進係

府中市市民協働推進行動計画(平成27年度～平成29年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況								備考				
					H27	H28	H29	H30～	H27		H28		H29								
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考		進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組
34	市民協働推進会議(仮称)の設置	協働推進課		協働の推進に係る取組の進捗状況等について評価・検証を行うとともに、基本方針や市民協働推進行動計画の見直し、条例制定等について調査・研究を行うため、市民や学識経験者等で構成する市民協働推進会議(仮称)を設置します。	設置	継続設置	継続設置	継続実施	計画通りに進んでいる	協働事業等評価制度の検討や、提案型協働事業の選定を実施。 【開催回数】4回	平成27年度に構築した評価制度に基づき、協働事業の評価作業を行うとともに、引き続き提案型協働事業の選定を実施する。	計画通りに進んでいる	協働事業の評価を行うとともに、提案型協働事業の選定を実施。 【開催回数】5回	協働事業の評価及び提案型協働事業の選考のほか、平成29年度については、行動計画の中間見直しと協働の推進に関する条例の要否を含めた検討を行うため、限られた時間の中で効果的な会議運営が求められる。	スムーズな会議の運営となるよう、資料を事前送付する際に、次回会議の論点のポイントを記載するなど工夫する。		計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定、行動計画の中間見直し、協働の推進に関する条例の要否を含めた検討を行った。 【開催回数】5回	評価項目の見直しを含め、より効果的・効率的にヒアリングが実施できるよう検討する必要がある。	ヒアリング及び評価を効果的に行うことができるよう、事前に委員より、効果的な質問事項の調査を行い共有を行う。また、条例の要否を含めた検討に当たり、都内の事例を含めスムーズな会議の運営となるよう、資料を事前送付する。	協働推進係
目標(3)政策形成過程への参画のための公募委員制度の拡充																					
35	附属機関に係る公募市民枠の拡充	政策課		市の施策の検討等を行う際に、広く市民の意見を聞くため、附属機関等を設置する際には、公募委員制度を積極的に採用することとします。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいない	H27.4.1現在50.0%(前年比-5.56%)	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。	計画通りに進んでいない	H28.4.1現在50.0%(前年比0%)	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。		計画通りに進んでいない	H29.4.1現在46.3%(前年比-3.7%)	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。	政策課
推進方策9 協働事業の評価・検証の仕組の整備																					
目標(1)評価・検証の手法の検討・整備																					
36	協働事業の評価・検証手法の整備	協働推進課		個々の協働事業について、協働の理念や原則等に基づき評価・検証を行う手法について整備します。	検討	実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市附属機関「市民協働推進会議」において、協働事業等評価制度について検討し、平成28年3月に答申として提出された。	協働可能性調査を踏まえて選出されたパイロット事業を中心として、協働事業の評価を実施する。	計画通りに進んでいる	協働事業等評価制度を整備し、協働可能性調査を踏まえて選出された6事業及び市民提案型協働事業4事業について、当該制度に基づく評価を実施した。	限られた時間の中で市民及び市担当課へのヒアリングを行うため、より効果的・効率的に実施する必要がある。	より協働に関するヒアリングができるよう、「事業概要書」を作成する。		計画通りに進んでいる	より効果的・効率的に実施するため、「事業概要書」を作成し、協働可能性調査を踏まえて選出された5事業及び市民提案型協働事業2事業の計7事業について、当該制度に基づく評価を実施した。	限られた時間の中で市民及び市担当課へのヒアリングを行うため、より効果的・効率的に実施する必要がある。また、評価項目の見直しを検討する必要がある。	限られた時間の中でヒアリングを行えるよう、事前に質問内容を検討し、共有する。	協働推進係
37	評価結果等の共有及び改善に向けた取組の実施	協働推進課	全課	市民と市とが実施した協働事業について、市民と市それぞれの立場から、整備をした評価・検証の手法に基づき点検・評価を行い、課題や改善点を共有するとともに、具体的な改善に取り組みます。		実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる		協働事業等評価制度に基づき評価を実施し、評価結果を事業実施者に共有した。また、庁内で報告するとともに、ホームページにおいて公表した。	計画通りに進んでいる	評価結果に基づく改善点について把握する必要がある。	評価対象事業について後追い調査を実施するなど、改善の取組を把握する。		計画通りに進んでいない	協働事業等評価制度に基づき評価を実施し、評価結果を事業実施者に共有した。また、庁内で報告するとともに、ホームページにおいて公表した。	実績調査等の実施時期の見直し等により、評価対象事業の後追い調査について、事業への反映等タイミングを含めて検討する必要があるため、未実施となった。	評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。	協働推進係	
市民協働推進会議(仮称)の設置																					
推進方策10 協働の取組を効果的に進めるための行動計画の策定及び条例の整備																					
目標(1)市民協働推進行動計画の進行管理の実施																					
38	市民協働推進行動計画の評価・検証手法の整備	協働推進課		市民参加のチェック機能を設けるとともに、庁内横断的な協働の推進体制を整備するなど、市民協働推進行動計画の進捗状況について評価・検証等を行う手法について、整備します。	検討・実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民協働推進行動計画の評価・検証手法の整備に向けた検討を実施した。	行動計画の進捗状況に関する調査や、市附属機関「市民協働推進会議」を通して評価・検証を行う。	計画通りに進んでいる	当シートで行動計画の進捗状況に関する調査を実施し、「市民協働推進委員会」への報告及び「市民協働推進会議」において評価・検証を行う。	制度としては整備したものの、活用があまりされていない取組等について、改善策を検討する必要がある。	「市民協働推進会議」において、評価・検証を行い、行動計画の中間見直しにつなげる。		計画通りに進んでいる	当シートで行動計画の進捗状況に関する調査を実施し、「市民協働推進会議」において評価・検証を行い、行動計画の中間見直しを行った。	中間見直しの結果を踏まえ、引き続き行動計画の進捗状況に関する調査や、市附属機関「市民協働推進会議」を通して評価・検証を行う。	協働推進係	
39	市民協働推進行動計画の見直し	協働推進課		市民協働を効果的に推進するため、社会経済情勢の変化等を踏まえ、市民協働推進行動計画の見直しを行います。			実施											完了(目標を達成)	平成27年度、28年度の取組内容の進捗を踏まえ、市民協働推進会議での検討及び、パブリックコメントを実施し、平成30年度から33年度までの期間の計画を策定した。 【冊子】300冊		協働推進係
40	協働に関する事例等の調査・研究の実施	協働推進課		市民協働の効果的な推進に向けて、他自治体における先進的な協働事例等について、調査・研究を行います。	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	計画通りに進んでいる	他市との情報交換等を通して、先進的な協働事例等について調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等の調査・研究を行う。	計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。		計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。	協働推進係		

府中市市民協働推進行動計画(平成27年度～平成29年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況										備考		
					H27	H28	H29	H30～	H27			H28				H29					
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績		課題	次年度へ向けた取組
41	協働に関する各種アンケート調査等の実施	協働推進課		市民協働の進捗状況や成果等を把握するとともに、効果的な推進方策を検討し、市民協働推進行動計画の見直し等に反映するため、適宜、市民や各活動団体、職員等に対し、アンケート調査を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	継続して各種アンケート調査等を実施する。	計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。		回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。		計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。		協働推進係
	市民協働推進会議(仮称)の設置	協働推進課																			
目標(2)市民協働の推進に関する条例の制定に係る調査・研究の実施																					
42	市民協働の推進に関する条例の制定に係る調査・研究の実施	協働推進課		条例を制定している先行事例について調査を行うとともに、その要否を含め、条例制定の課題等について研究します。		調査・研究	検討	検討結果に応じ対応				計画通りに進んでいる	全国813市のホームページから、市民協働の推進に関する条例の制定状況について調査を実施した。		市民協働推進会議において、検討を行う。		計画通りに進んでいる	先進事例である、長崎市への視察を実施したほか、協働に関する条例制定市93市のうち、人口規模が同程度の自治体9市に調査を実施した。	引き続き、市民協働推進会議において、検討を行う。		協働推進係